

津市内水ハザードマップ 保存版

安濃地域(草生・村主・安濃・明合)

このハザードマップについて

- このハザードマップに示す浸水は、令和7年度の各排水施設の整備状況を勘案して津市が作成したものです。
- 内を対象にシミュレーションを実施しました。
- 雨の降り方によっては、浸水区域や浸水深がこの区域と異なることがあります。
- 河川の氾濫による浸水及び高潮等による浸水は、考慮していません。

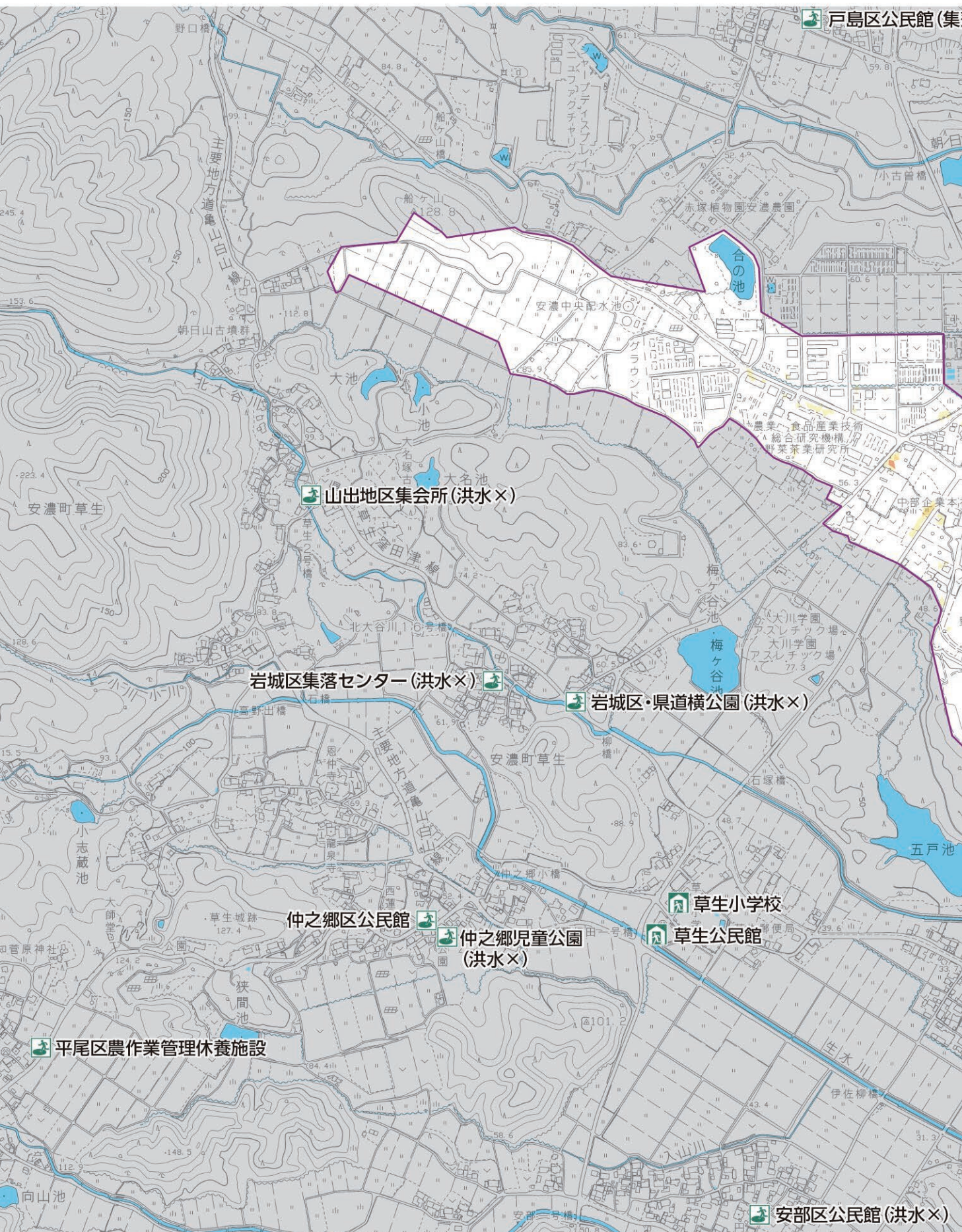
マップ作成条件

この内水浸水想定区域は、想定最大規模の降雨によって、各排水施設から水が溢れる範囲や深さをシミュレーションしたものです。

想定最大規模降雨とは、平成16年9月29日に津市で降った雨の時間最大を130mmに引き延ばした降雨です。
(最大1時間雨量130mm、日総雨量404mm)

防災関係機関一覧

種別	名称	住所	電話
災害対策関連施設	安濃総合支所 地域振興課	津市安濃町東観音寺483	059-268-5511
消防関連施設	中消防署 安濃分署	津市安濃町川西2097	059-268-5119



防災情報の伝達方法

- 音声応答サービス**
同報系防災行政無線で流れた内容を電話で聞くことができます。ぜひご利用ください。
①次のいずれかに電話をかける
☎️ 0800-200-1699 ☎️ 059-221-5424(有料)
- 緊急告知ラジオの貸与**
避難指示などの発令時に、自動的に電源が入り、避難情報を伝えるラジオを対象者に貸与します。詳しくは危機管理課にお問い合わせください。
- 津市防災サイト**
ハザードマップで、被害想定や最寄りの避難所を見ることができます。また、避難指示などの発令や避難所開設状況をお知らせします。
https://www.info.city.tsu.mie.jp/kurashi/bousai_kyuukyuu_shoubou/1003370/index.html
- 津市防災情報メール**
同報系防災行政無線から放送される避難情報などをメールで配信します。2次元コードから、またはアドレスを入力し「津市防災情報メール」にアクセスして登録してください。
<https://tsu-city.site.ktaiwork.jp/>
- テレビのL字テロップ**
ケーブルテレビ(津市行政情報チャンネル)で、通常の放送画面を小さくして、緊急情報を放映します。
チャンネル…ケーブルテレビ 123ch

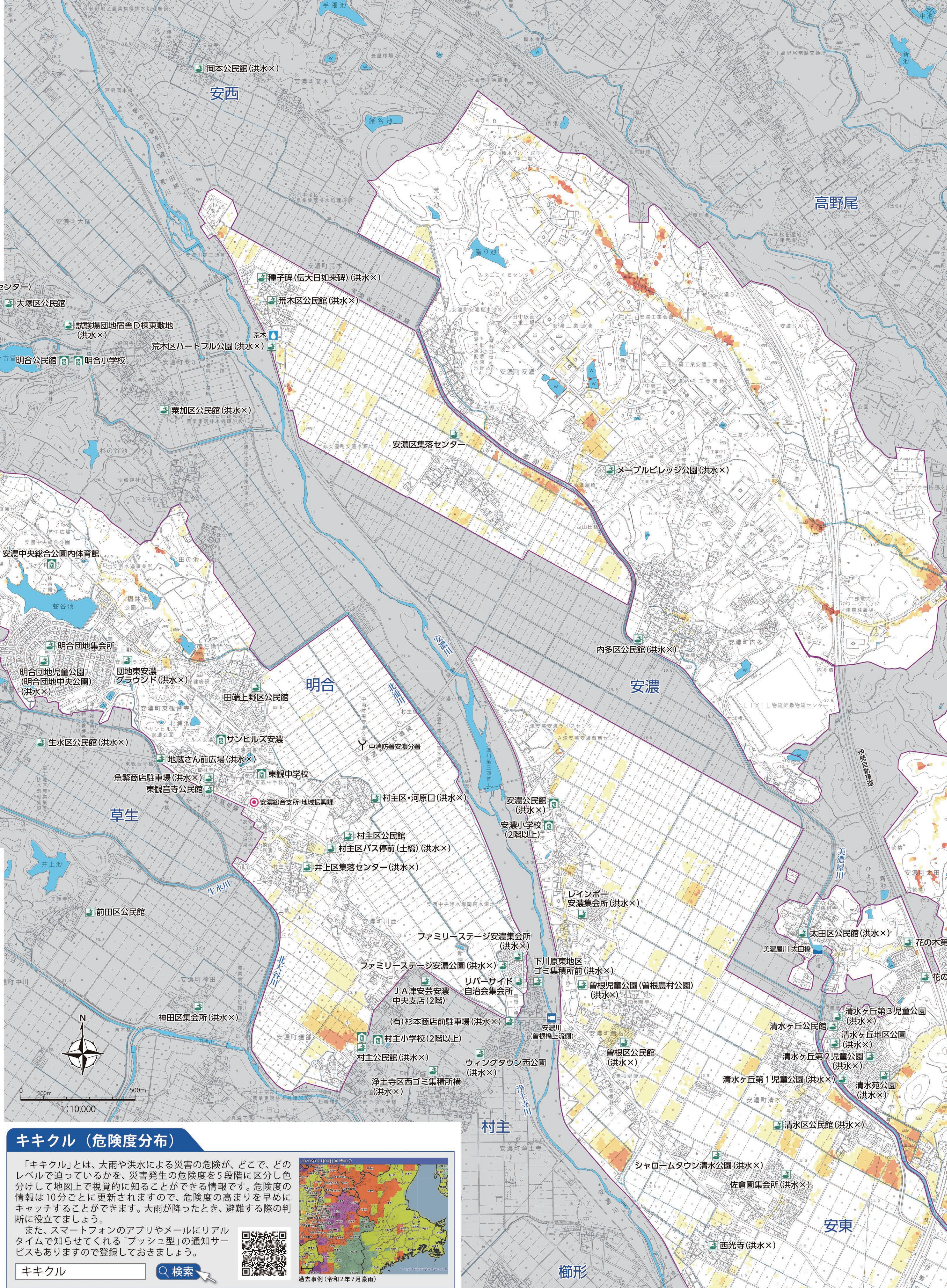
大雨時に発表される気象情報※

種類	発表の時期
レベル5大雨特別警報	大雨や河川の増水によって、重大な浸水害が起こるおそれ著しく大きいと予想されたとき。
レベル4大雨危険警報	大雨や河川の増水によって、重大な浸水害が起こるおそれが高いとき。
レベル3大雨警報	大雨や河川の増水によって、重大な浸水害が起こるおそれがあるとき。
レベル2大雨注意報	大雨や河川の増水によって、浸水害が起こるおそれがあるとき。

※大雨時には上記のほか、雲出川を対象とした氾濫に関する情報(レベル2氾濫警報からレベル5氾濫特別警報)や土砂災害に関する情報(レベル2土砂災害注意報からレベル5土砂災害特別警報)が発表される。

気象防災速報(線状降水帯発生)
大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で実際に降り続けている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解説する情報。

気象防災速報(記録的短時間大雨)
数年に一度しか起こらないような記録的な短時間の大雨を観測し、より一層の警戒を呼びかけるときに発表する。三重県での発表基準は1時間雨量120mmの猛烈な雨が観測又は解析されたとき。



キキクル(危険度分布)

「キキクル」とは、大雨や洪水による災害の危険が、どこで、どのレベルで迫っているかを、災害発生の危険度を5段階に区分し色分けして地図上で視覚的に知ることができる情報です。危険度の情報は10分ごとに更新されますので、危険度の高まりを早めにキャッチすることができます。大雨が降ったとき、避難する際の判断に役立てましょう。

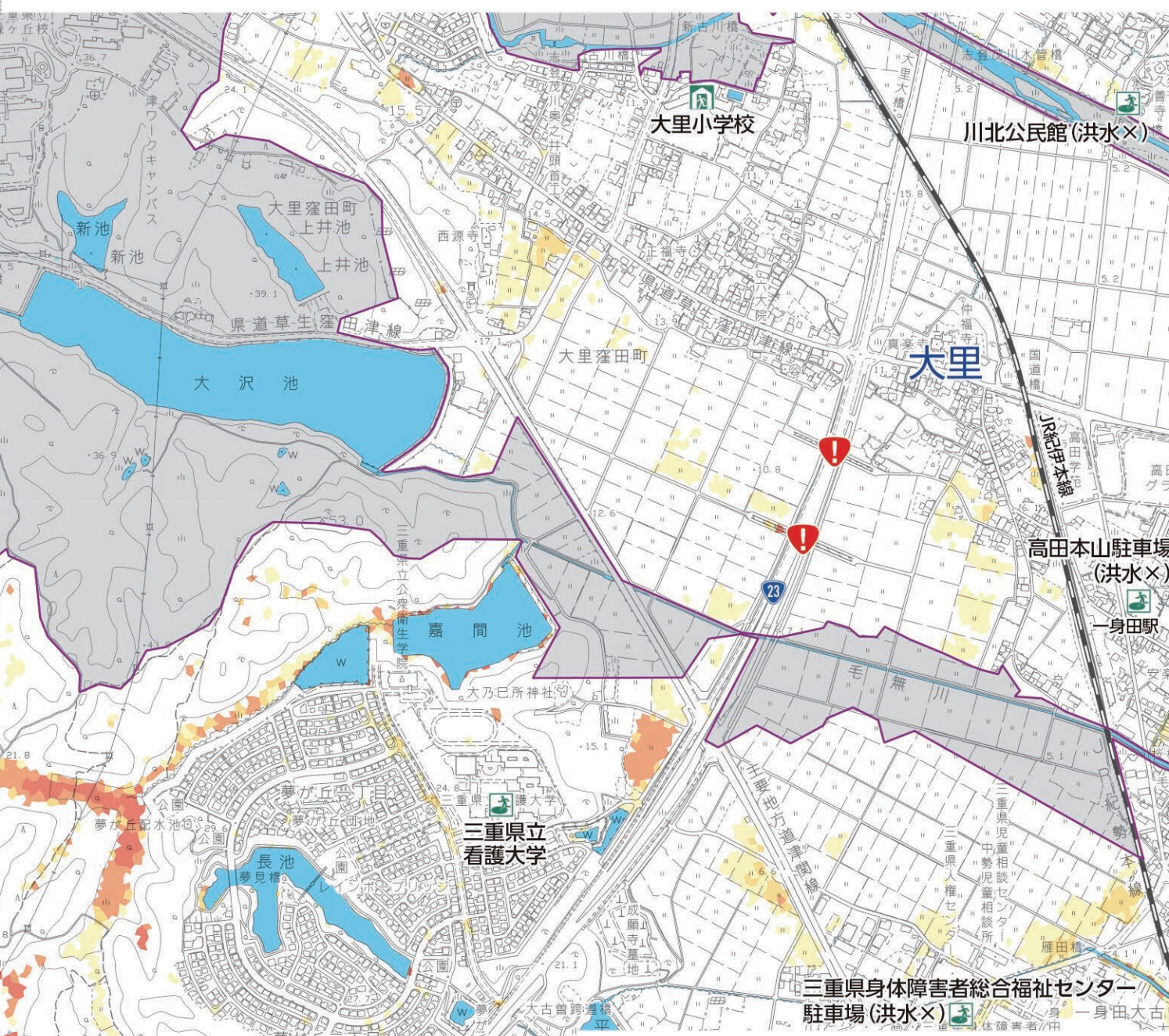
また、スマートフォンのアプリやメールにリアルタイムで知らせてくれる「プッシュ型」の通知サービスもありますので登録しておきましょう。

キキクル

過去事例(令和2年7月豪雨)

事前の心構えと避難の心得

- 家のまわりを点検・整備**
家の前の排水溝が詰まっていないかの確認や風で吹き飛ばされる物の撤去等が必要です。
- 家庭でできる簡易水防**
浸水深が小さいときは、下記のようにすることで、水の侵入を減少させることができます。
●大きめのゴミ袋やポリタンク等に水を入れて、水の出入口となる。
●グラunterをつなげて水の出入口となる。とくに壁へ。
●板の板と土のうで臨時の止水板を作る。
- 安全な避難路の確認**
避難場所等までの経路は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。
- 正確な情報収集と早めの避難を**
テレビ、ラジオ等で最新の気象情報、災害情報に注意しましょう。
- 二人以上の避難を**
避難するときは2人以上で、隣近所への声かけをしましょう。
- 氾濫水は勢いが強い**
氾濫水は、勢いが強く水深がひざ程度あると大人でも歩くのが困難です。緊急避難として、高い堅牢な建物にとどまることも選択肢の一つです。
- 非常持ち出し品の事前準備をしましょう**
懐中電灯、水、タオル、食料セット、ロケットストーブ、乾電池、モバイルバッテリー、携帯ラジオと予備電池、非常食、貴重品、衣類下着類、ロープ、ドライシャンプー、育児用品、軍手、ヘルメット、携帯ナイフ、石けん、使い捨て食器、マスク、消毒液
- 避難時の心得**
動きやすい格好で
持ち物はリュックで、手は自由に。長靴よりも履き運動靴で避難しましょう。



浸水深区分

- 5.0m以上の区域
- 3.0～5.0m未満の区域
- 1.0～3.0m未満の区域
- 0.5～1.0m未満の区域
- 0.3～0.5m未満の区域
- 0.1～0.3m未満の区域

凡例

- 指定避難所
- 一時避難場所
- 雨量観測所
- 水位観測所
- 河川監視カメラ
- 災害対策関連施設
- 救急告示医療機関
- 警察署
- 消防関連施設
- アンダーパス・地下道
- ポンプ場
- 排水機場
- シミュレーションの対象範囲